

# 吉原地区だより

＜発行＞  
吉原地区だより編集委員会

## 『チョイソコぜんつうじ』の実験運行が始まります

吉原地区連合自治会

市では4月から、高齢者の外出を支援する移動手段として、65歳以上の会員登録制による乗り合い送迎サービス『チョイソコぜんつうじ』の実験運行が始まります。

先ず、竜川地区で行い、吉原地区は8月1日(火)～11月30日(木)に実験運行をいたします。なお、吉原地区における実験運行説明会は6月以降の予定です。



## 吉原地区自主防災会の訓練実施について

吉原地区自主防災会



11月19日(土)、吉原小学校で吉原地区自主防災会主催による南海トラフ地震を想定した防災訓練を実施しました。参加した小学生や自治会員は、水消火器を使った消火方法や香川看護専門学校生から骨折処置の仕方、応急担架の作り方を学ぶと共に避難所・給水所見学等を体験しました。また、昼食には、炊き出しによるナイロン袋に入ったご飯と豚汁をいただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらの訓練を通して、「自らの命、大切な人の命を守る」ために出来ることを習得し、更なる防災力の必要性を実感した1日となりました。



道路側から見たバベ垣



小学校から見たバベ垣

**安全な学校生活を送るために**  
善通寺市立吉原小学校校長 川村幸二

昨年、十二月十一日(日)に、以前から危機意識を高めていた小学校正門付近の見通しをよくして、子どもたちが安全に通行できるようにするために、正門南北に植えられているバベ垣を低く切り整枝しました。

当日は、吉原おやじの会(代表:佐柳健氏)やPTA本部の皆さんのご協力のもと、作業を行いました。これで、ドライバーからも、子どもたちからもかなり見通せるようになり、少しでも事故を防ぐことができるのではないかと思います。

子どもたちの事故を防ぎ、安全な学校生活を送れる吉原っ子であり、吉原小学校でありたいと願っています。

## 防犯用看板を設置しました

吉原地区連合自治会

吉原地区において、犯罪や事故防止のための抑止力にするため、10月に「この地区は防犯カメラ作動中!」の看板を3カ所設置しました。

現在、吉原地区に防犯カメラは18カ所設置されています。この防犯カメラの有用性を高め、地域の眼で町を守る活動に今後も取り組んでまいりますので、適切な防犯用看板設置場所を公民館までご一報いただきますようお願いいたします。

なお、設置場所は、吉原小学校駐車場フェンス、十五丁自治会場、公民館北側中川様宅の3カ所です。



## サン・レディーズ吉原

今から40年前、世間にはキッチンドリinkerという言葉がありました。そういう言葉を知った私は、何か地域、社会に貢献できることはないだろうかと始めたのが、公民館活動の体操教室でした。

人は80歳になっても鍛えれば筋肉ができると言われています。体を柔らかくすることで怪我をしにくくなります。また、頭も柔らかくなり、そこからは良い発想が生まれます。吉原公民館でワイワイ言いながらお口の体操もして、認知症予防も楽しくしています。年齢に関係なく自分に合ったように楽しく体を動かす。とても大切なことを続けて40年になりました。

共感してくださる方、どなたでも参加をお待ちしております。年齢に関係はありません。よろしくお願いいたします。



## 吉原大正琴同好会

吉原大正琴同好会は、平成3年9月5日に発足しました。現在指導者以下10名で、毎月2回第2、4水曜日の13:30～15:30まで吉原公民館にてレッスンをしています。

「人生100年時代」と言われるようになりましたが、健康で長生きすることが大切です。そのためにも趣味を持って楽しく過ごすことが大切です。「楽器って難しい」そう思っていないですか。大正琴は違います。経験がなくても大丈夫です。大正琴のキーには数字が、譜面にも数字が書か



れていますので簡単に曲を弾くことができます。脳の活性化にもつながりますし、何歳から始めても遅すぎることではありません。ますます元気に若返ること間違いなしです。

コロナ禍が過ぎれば、発表会や慰問等、活動の場が広がっていくことと思います。「楽しむために弾いてみたい」、「資格を取って上達していきたい」皆それぞれの思いで集まっています。ぜひ一緒に楽しみませんか。